

# 公益信託 農林中金森林再生基金（森力基金）

## 2020 年度審査概要

2021 年 3 月

公益信託 農林中金森林再生基金では、2021 年度の募集を 4 月 1 日（木）から 6 月 30 日（水）までの 3 ケ月間行います。どうぞ奮ってご応募ください。

応募の際の参考に、2020 年度の審査概要（応募状況、全体講評、選定された団体の事業概況、審査上のポイント）をご案内いたします。

### 1 2020 年度の応募状況と選定結果

応募総数は 21 件で、そのうち 9 件（合計約 193 百万円）が選定されました。

応募のあった 21 件の内訳は、森林組合 17 件、森林組合連合会 1 件、一般社団法人 1 件、森林組合と森林組合連合会の共同申請 1 件、森林組合と木材生産組合の共同申請 1 件でした。

### 2 全体講評

今回の決定案件の内容は、それぞれの地域が抱えている特有の課題等を解決し、これまでの取組みを一步進めることにより、荒廃した民有林を再生し、森林の多面的機能を持続的に発揮させることを目指しています。

具体的には、ICT 技術を活用した境界明確化等による施業集約化、多用途に応じた木材供給体制の構築による森林整備の推進、スギ・アカマツ・広葉樹林の再生、急傾斜地等における架線集材技術の導入など、地域の中核を担う事業体としての事業実施態勢の整備を目指す事業が主なものとなっています。

### 3 選定された 9 団体の事業概要

#### (1) 下北地方森林組合（青森県）

##### ① 事業名

ツキノワグマ（オヤジ）との共生、里山の復権・新たな価値創出を目指して

##### ② 事業概要

下北地域は、かつて青森ヒバの産地として地域経済の一翼を担っており、住民の林業への思いも強く、拡大造林期にはスギの植林が積極的に行われた。かかる中、管内で頻発するツキノワグマによるスギ樹皮剥ぎ被害は、その立木価値と所有意識を低下させる一因となっている。不健全な木々と共に、その森林が放置されれば、風倒木等甚大な被害が発生しうる状況にあり、早急な対策が求められている。

本事業は、放置された森林全体を、間伐によりスギを育成していく森林、郷土樹種であるヒバや広葉樹に転換する森林など、ツキノワグマとの共生が可能な森林に再生させることにより、森と人のかかわりがより身近に感じられる里山としての復権、新たな価値を創出し、森林所有者の経営意欲を蘇らせ、得られた成果を次世代に引き継ぐという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：76,341,960円、森力助成：24,363千円

## (2) 花巻市森林組合（岩手県）

### ① 事業名

「スギ・アカマツ・広葉樹」一体の森づくり

ー健全で多様性に富む森林へ、早池峰ダム周辺森林再生の取組みー

### ② 事業概要

花巻市は、東の北上山系と西の奥羽山脈に挟まれた県中央部に位置し、主に（旧）公団分収造林により森林整備された地区もあるが、個人有林主体の森林では、材価の低迷等により整備が遅れ、トビ腐れ（スギ）、松くい虫（アカマツ）、ナラ枯れ（広葉樹）などの被害が顕在化し、更なる森林荒廃が危惧されている。

本事業は、北上高地に位置し標高500～600m、（旧）大迫町折壁地区の個人有林を対象に、スギについては搬出間伐、アカマツ・広葉樹については更新伐により天然更新を促すなど、付近に迫る病虫害の予防を図るとともに、森林を一体的かつ長期的視野によって扱うことにより、効率的な路網・森林整備、木材の有効利用・有利販売を可能とする新たな森林再生の取組みによる健全で多様性に富む森林への再生を目指すという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：39,649,500円、森力助成：13,108千円

## (3) 宮城中央森林組合（宮城県）

### ① 事業名

泉ヶ岳山麓から始める『杜の都仙台』の地域林業再生事業  
～先代が残した地域集落林を後世に継承するために～

### ② 事業概要

仙台市泉区根白石地域は、江戸時代に伊達政宗公の命により、木材生産を目的とした植林が盛んに行われ、旧集落林ごとに林業経営が盛んな地域であった。旧集落林は一般社団法人や地域共有林等の所有形態として、現在でも仙台市泉区内の私有林の内42%を占めているものの、地域共有林については構成員の高齢化による経営意欲の低下や材価の低迷等により、適切な管理がされない状況が継続している。

本事業では、地域の有力林業経営体（一般社団法人）と連携し、作業路網の整備による効率的な搬出間伐を行い、森林の公益的機能発揮を図るとともに、持続的な林業経営が可能なモデル林を造成し、かつて地域産業の要であった林業の再生を目指すという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：25,081,200円、森力助成：19,413千円

#### (4) 本荘由利森林組合（秋田県）

##### ① 事業名

親から子へ孫へ  
放置林の解消と、生長が見れる山に

##### ② 事業概要

当組合は日本海沿岸南部の霊峰鳥海山の麓に位置し、管内の民有林面積 81 千 ha の約半分を占めるスギ人工林が年々成熟するなか、地域森林資源の有効利用と保続のため、生産・流通・加工・販売にわたり幅広く中核的な役割を果たしてきた。しかし、海岸に近い都市部を中心に、小規模・分散型の木材生産には不利な地域での森林の荒廃が進み、その機能発揮が喫緊の課題となっている。

本事業は、森林の所有規模が小さく分散し、多くの所有者の世代交代等により関心が薄れる旧本荘地区で、景観・安全に配慮した施業の実施と搬出材の有効利用を組み合わせ、放置林の再生を図るとともに、生長を目で見て感じ取れ、離れてしまった山への関心を取り戻し、次世代に引き継げるようにすることを目的とする取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：31,393,290 円、森力助成：17,779 千円

#### (5) 東白川村森林組合（岐阜県）

##### ① 事業名

人工林率 95%！清流白川沿い森林再生プロジェクト

##### ② 事業概要

当村を南北に分ける白川沿いの急傾斜地に人工林が広く分布しているが、現況は①清流白川の保護の観点から高密度路網開設が困難、②対面に県道が走っている事から架線集材が困難な事等から間伐手遅れ林となり、土砂崩壊等河川への悪影響が危惧されている。

本事業では、地盤の安定した尾根筋にトラック道の開設と木材搬出路を作設し架線集材を行うことにより、河川保護と多様な需要に応じた間伐材の有効活用を図る新たな作業システムを構築するとともに、本来持つべき森林の公益的機能が発揮できる河川沿いまで広く植栽が行われた森林の再生を目指すという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：46,830,000 円、森力助成：29,380 千円

#### (6) 仁多郡森林組合（島根県）

##### ① 事業名

デジタル技術の活用による日本農業遺産を支える森林再生事業

##### ② 事業概要

当森林組合は戦後の拡大造林施策以降、人工林率 58%の森林を造成してきたが、材価の低迷等から森林所有者の森林経営意欲が減退していることと併せ、山林の地籍調査の進捗が約 3 割と低く、森林所有者の高齢化や不在村化により現地確認が困難であることが森林所有者の境界明確化の妨げとなって

おり、森林の団地化や施業の集約化が進まず間伐が遅れる大きな要因となっている。

令和2年に奥出雲町が航空レーザー計測を行うこととなったので、計測結果等を活用し現地確認を行うことなく、GIS上で森林の境界明確化を行い、ドローン画像などを活用した正確な森林情報を基に施業の集約化を図り、これら成果をデータベースとして管理し次世代へ引き継ぐという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：31,542,326、森力助成：15,041千円

## (7) カルスト森林組合（山口県）

### ① 事業名

「針・広葉樹林の一体型整備」による森林再生モデル事業

### ② 事業概要

当組合は、森林再生基金を二度にわたり活用して秋吉台国定公園東部の第1・2種特別地域で事業を行い、林業経営と自然環境保全の両立を実践した。一方、同公園西部（第2・3種地域）は、針・広葉樹比率も東部と同等であり、生活圏として森林資源を活用していたが、過疎高齢化の影響を受け、薪炭林及びスギ・ヒノキ人工林は荒廃し、林業経営は困難となっている。

そこで本事業では、チップボイラによる温熱供給等構想を打ち出している行政との連携の下、地域資源の循環利用を目指した面的な整備を行い、低質材や大径化した材をバイオマス燃料や椎茸生産等、地域内で活用可能な森林への誘導により、森林の多面的機能の向上と林業経営の両立を目指すという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：72,234,500円、森力助成：29,240千円

## (8) 耳川広域森林組合・宮崎県森林組合連合会（宮崎県）

### ① 事業名

ドローンレーザー計測と衛星解析を基盤情報とした急傾斜地放置人工林整備の持続的実施体制づくり：主伐・再生林の「次」を見据えて

### ② 事業概要

主伐・再生林が盛んな耳川流域では、①急傾斜地に取り残された間伐後れ人工林の再生と、②除間伐期に入った再生林地の整備とが重要な課題となっている。①については採算性だけでなく伐採にともなう公益的機能の低下を最小限に抑えることが求められるため、精緻な森林・地形情報が欠かせない。また、①を主伐・再生林の後回しにしないためには、②を含めた広域的な林業作業のスケジュールを最適化し、①に確実に労働力を振り向けられるようにすることが重要になる。

本事業では、これらの課題の解決に必要な情報をドローンレーザーや衛星によって取得し、本流域における急傾斜地放置人工林の再生のモデルケースを構築するという取組みが評価された。

【申請金額】総事業費：46,033,068円、森力助成：29,163千円

#### (9) 鹿児島県森林組合連合会（鹿児島県）

##### ① 事業名

シラス地域における ICT 技術を活用した荒廃森林再生事業  
「維新の翼さつまプロジェクト」

##### ② 事業概要

鹿児島県垂水市はシラス土壌のため保水力が弱く、大雨等による大規模な災害発生が懸念される地域である。また、所有規模が零細な上、林地台帳が未整備で、適切な施業や路網の整備が進まず森林の荒廃が拡大している。

当事業（30ha、所有者 45 名）では災害に強い森林整備を実現するため、前年度に検討した路網整備・施業方法を基に実践・検証する。当地域は、農・畜産・水産業が盛んで、森林業務に従事する職員が不足し、地元との連携が希薄化していることから、産官学と地域連携（県森連・大隅森林組合・垂水市・鹿児島大学・航測会社）により、航空機とドローンによる計測や人工知能解析を用いて森林情報を整備する高機能なシステムの導入を図り、対象地に最適な森林再生計画を策定する。これら事業の成果を、クラウドで共有し、シラス地域が過半を占める県下広域の荒廃森林再生の基礎となる地域のモデルとして整備するという取組みが評価された。

【申請金額】 総事業費：29,766,550 円、森力助成：15,300 千円

#### 4 審査上のポイント

事業の中でも、特に (1)、(2) に重点を置いたうえで、次のような緊急性、継続性、波及性等が高い事業・活動を選定しますので参考にしてください。

##### (1) 助成金終了後も継続性・波及性が認められる事業

- ・ ノウハウ・技術・生産性の向上、コスト削減等の取組み
- ・ 地況・林況・森林施業等が同種の地域における模範となる取組み
- ・ 事業基盤充実（人材育成、機械化等）を目指した取組み

##### (2) 過去に例のない先進的事業

##### (3) 山づくりの長期的ビジョンが描かれ、それに基づいて申請事業の位置づけが明確な事業

##### (4) 施業対象となる森林の整備が危急と認められる事業

##### (5) 協同組合・地元住民・ボランティア・行政等と連携した活動

以 上